

## 医療トピックス

### くすり一口メモ

## 睡眠薬の併用禁忌薬剤・使用禁忌疾患・高齢者投与量

睡眠薬は処方される頻度の高い薬剤の一つです。睡眠薬を処方する場合、一緒に使用してはならない薬剤、投与してはならない疾患、高齢者での投与量などが問題となります。今回は睡眠薬を処方する場合に特に注意しなければならない併用禁忌薬剤、使用禁忌疾患、高齢者への投与量についてまとめてみました。

表1は添付文書に掲載されている薬物相互作用の禁忌薬剤および使用してはならない疾患についてまとめたものです。

表1 添付文書に掲載されている薬物相互作用の禁忌薬剤および使用してはならない疾患

分類	一般名	商品名	併用禁忌薬(商品名)	機序	使用禁忌疾患				
					重症筋無力症	急性狭心症	重篤な肝障害	無呼吸状態	
バルビツール酸系睡眠薬	バルビタール	バルビケール(末)	ポリコナゾール(ブイフェンド)	本剤の肝薬物代謝酵素誘導作用による。					
メラトニン受容体作動薬	ラメルテオン	ロゼレム(錠)	フルボキサミンマレイン酸塩(ルボックス・デプロメール)	本剤の主な肝薬物代謝酵素であるCYP1A2を強く阻害する。また、CYP2C9、CYP2C19およびCYP3A4に対する阻害作用の影響も考えられる。			○		
オレキシン受容体拮抗薬	スボレキサント	バルソムラ(錠)	【CYP3Aを強く阻害する薬剤】 イトラコナゾール(イトリゾール) クラリスロマイシン(クラリシッド) テラプレビル(テラビック) ポリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル(ノービア) サキナビル(インビラーゼ) ネルフィナビル(ピラセプト) インジナビル(クリキシパン)	スボレキサントの代謝酵素であるCYP3Aを強く阻害し、スボレキサントの血漿中濃度を顕著に上昇させる。					
ベンゾジアゼピン系睡眠薬	超短時間型	トリアゾラム	ハルシオン(錠)	イトラコナゾール(イトリゾール) フルコナゾール(ジフルカン) ホスフルコナゾール(プロジフ) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) エファレンツ(ストックリン) テラプレビル(テラビック) 【HIVプロテアーゼ阻害剤】 インジナビル(クリキシパン) リトナビル(ノービア) 等	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。	○	○		
	中間型	エスタゾラム	ユーロジン(散・錠)	リトナビル(ノービア)	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。	○			
	長時間型	クアゼパム	ドラル(錠)	リトナビル(ノービア)	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。				
				食物	難溶性薬物である本剤は、胃内容物の残留によって吸収性が向上し、未変化体およびその代謝物の血漿中濃度が空腹時の2～3倍に高まることが報告されている。	○	○		○
長時間型	フルラゼパム	ベノジール(カプセル) ダルメート(カプセル)	リトナビル(ノービア)	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。	○	○			
非ベンゾジアゼピン系睡眠薬(超短時間型)	ゾルピデム 酒石酸塩	マイスリー(錠)	なし	なし	○	○	○		

ハルシオンとベルソムラは併用禁忌薬剤の多い薬品で、注射剤を含め抗真菌薬を使用している場合は必ず確認をお願いします。ベルソムラはクラリシッド服用中の患者には投与できません。デプロメルを使用している患者にはロゼレムが投与できません。ベンゾジアゼピン系の睡眠薬は抗コリン作用を持っているため、その多くが重症筋無力症や急性狭隅角緑内障には使用禁忌となっています。ベンゾジアゼピン系の睡眠薬の中で唯一ユーロジンは急性狭隅角緑内障に禁忌となっていない薬剤です。ドラールは睡眠時無呼吸症候群に使用禁忌となっていますのでご注意ください。重篤な肝障害のある患者にはマイスリーは使用できません。また、高度な肝障害のある患者にはロゼレムが使用できません。なお、ドラールは食べ物と一緒に投与すると吸収が高まり血中濃度が上昇しますので空腹時に服用してください。

表2は添付文書に高齢者の用量が記載されている薬剤についてまとめたものです。高齢者は腎機能、肝機能が低下している場合が多く、効果が強くでる可能性があります。使用量にはご注意ください。

表2 添付文書に高齢者の用量が記載されている薬剤

一般名	商品名	用量	高齢者の用量
トリアゾラム	ハルシオン	1回0.25～0.5mg	1回0.125～0.25mg
ロルメタゼパム	ロラメット エバミール	1回1～2mg	1回2mgまで
リルマザホン塩酸塩水和物	リスミー	1回1～2mg	1回2mgまで
フルニトラゼパム	サイレース ロヒプノール	1回0.5～2mg	1回1mgまで
ゾルピデム酒石酸塩	マイスリー	1回5～10mg	1回5mgから開始し1日10mgまで
エスゾピクロン	ルネスタ	1回2mg, 3mgを超えないこと	1回1mg, 2mgを超えないこと
スボレキサント	ベルソムラ	1日1回20mg	1日1回15mg

参考資料：各薬剤添付文書

(鹿児島市医師会病院薬剤部 新上香奈子)